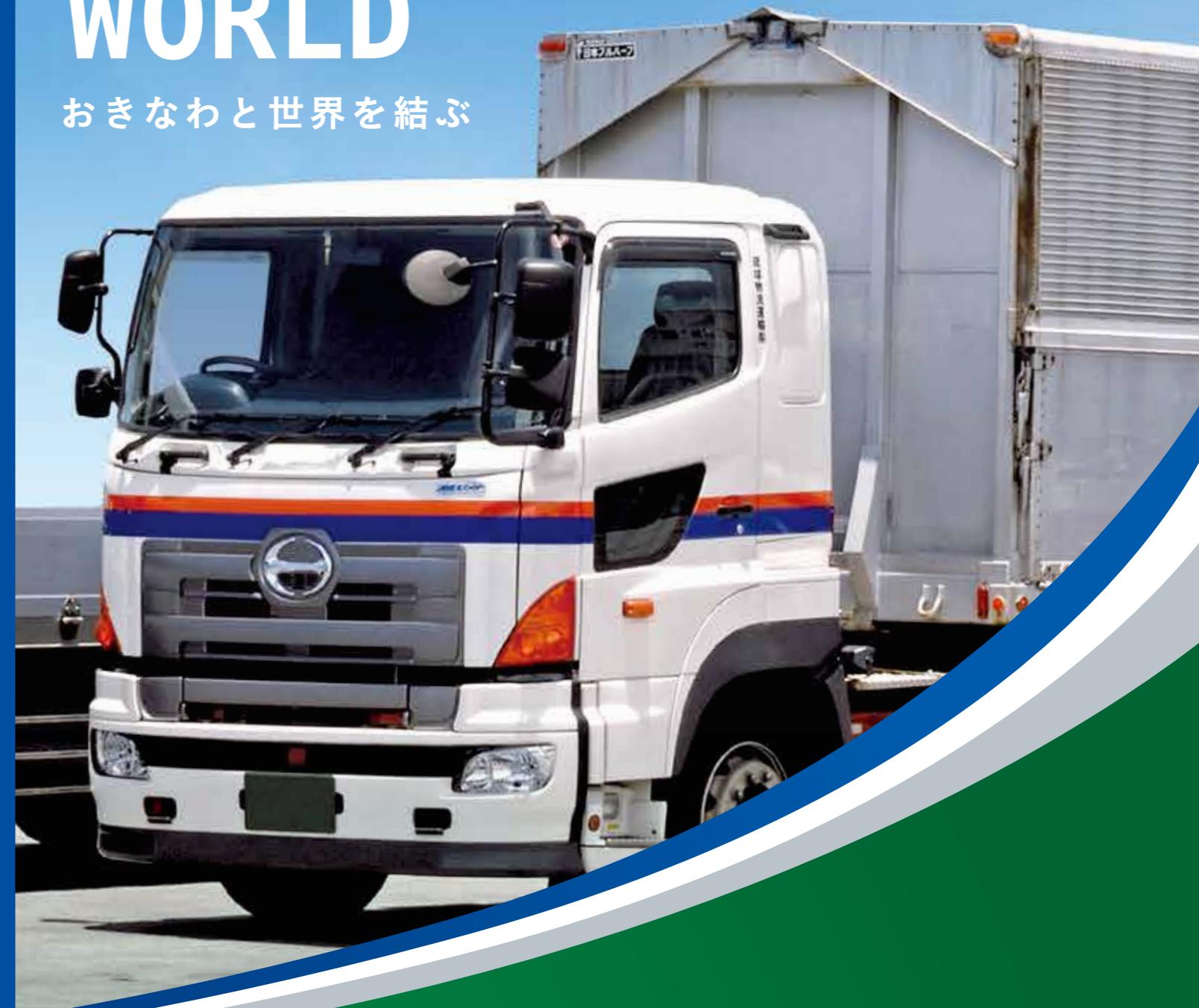


CONNECT WITH THE WORLD

おきなわと世界を結ぶ



琉球物流
RYUKYU LOGISTICS

～「ロジスティクス」で あなたの未来をアシスト～

陸、海、空に張り巡らされたグローバルネットワークにのせ、
沖縄から本土各地へ、そして海を越えて世界各国へ——。
グループのネットワークを最大限に活かして
輸配送、保管、梱包、流通加工、包装及び情報管理に至る物流
全般について、物流新時代のあらゆる要請に応えるプロ集団。
日本通運株との業務提携を通して、さまざまな輸送手段を駆使し、
アクティブに、フレキシブルにあらゆるニーズにお応えし、
物流を通して皆様の豊かな暮らしに貢献しています。

ごあいさつ

代表取締役社長
金 城 樹



謹啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社は、創業以来お客様ならびに関係先の皆様からの温かいご支援に支えられ、共に歩みを重ねてまいりました。おかげさまで本年11月、創業75周年の節目を迎える運びとなります。これもひとえに皆様のご愛顧とご指導の賜物であり、心より感謝申し上げます。

弊社は1950(昭和25)年に倉庫業として創業し、1960年には日本通運株式会社と代理店契約を締結。陸・海・空に広がるグローバルネットワークを活かし、沖縄から日本各地、さらには世界各国へと物流を展開してまいりました。

今日では、輸配送・倉庫保管・通関・国際輸送・梱包・流通加工・美術品輸送・引越・船舶代理店業務など、幅広いサービスを通じて、地域に根差した総合ロジスティクス企業としてお客様の信頼にお応えしております。

私たちは、「物流を通して地域社会の発展に貢献する」という創業の精神を大切にし、変化の激しい時代にあっても、お客様の多様なニーズに柔軟かつ的確に応えるため、たゆまぬ挑戦と進化を続けております。

また、持続可能な社会の実現に向けて、環境への配慮、働きがいのある職場づくり、地域や子どもたちの未来を応援する社会貢献活動など、ESG経営の推進にも積極的に取り組んでおります。

まもなく迎える75周年を新たな出発点として、これまで培ってきた「現場力」と「つながる力」を原動力に、沖縄から全国、そして世界へ——。

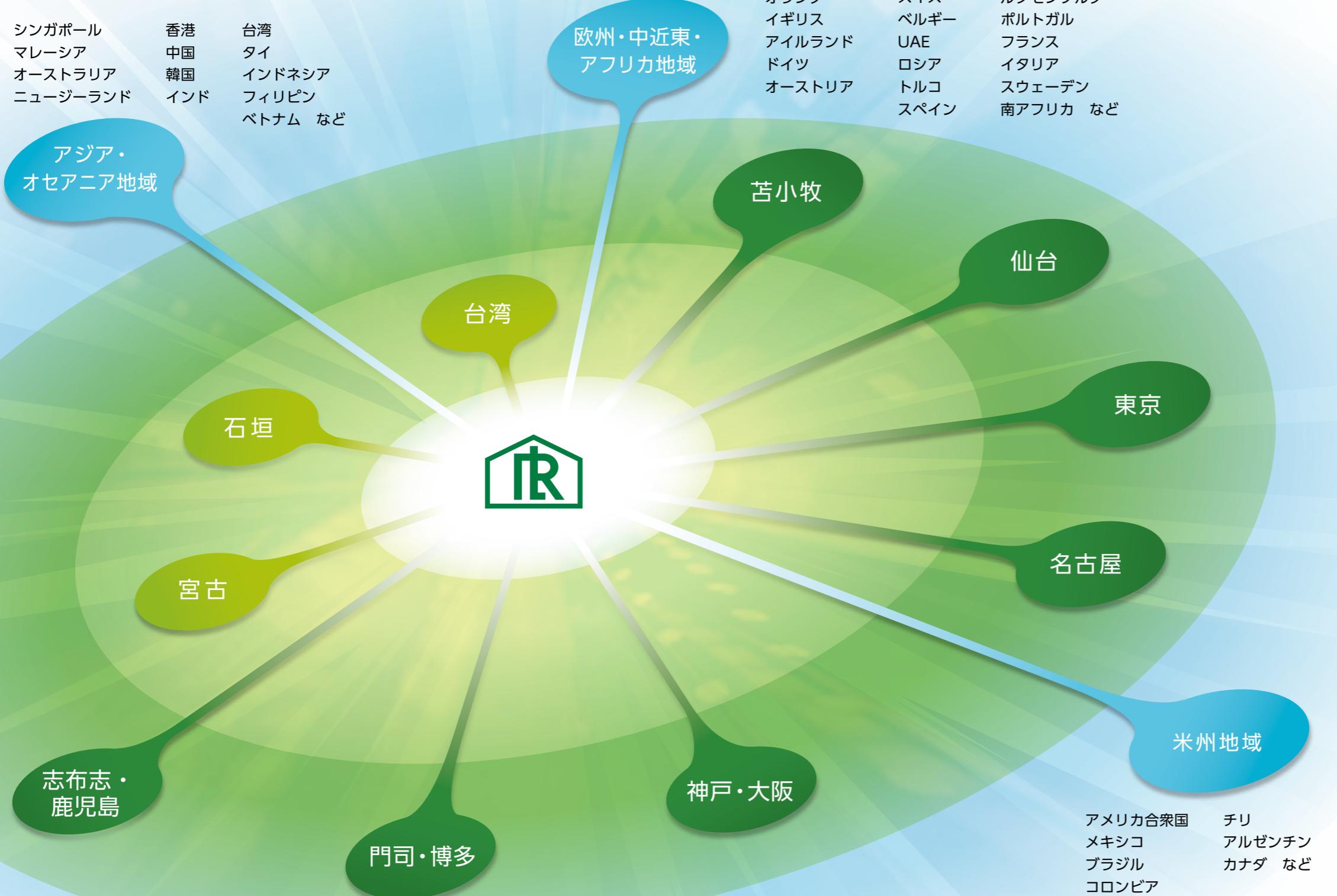
物流を通じてお客様と地域社会の未来を支え、共に成長してまいります。

今後とも変わらぬご指導とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

謹白

令和7年10月吉日

沖縄から本土、海外へ—— 陸・海・空の複合機能をいかした 国内外への一貫輸送サービス。



主要業務



日本全国から沖縄へ、沖縄 から日本全国へ。

沖縄県における物流拠点である那覇新港に隣接した
当社の物流センターの立地条件と配送機能を全面的に生かして、
保管・仕分けした貨物を「迅速、安全、確実」にお客様にお届けしております。

物流センター

配送機能を活かした物流拠点型倉庫・物流センター。
貨物の確実な保管・仕分け等に対応し、迅速にお届けいたします



海上コンテナ輸送・大型貨物海上輸送

大量貨物を海上コンテナ及びJRコンテナにて、集荷から配達まで一貫輸送いたします。

また、コンテナに積み込み不可能な大型貨物の場合も、輸送手段を的確に判断し、お客様のニーズにお応えして海上輸送サービスをご提供しています。

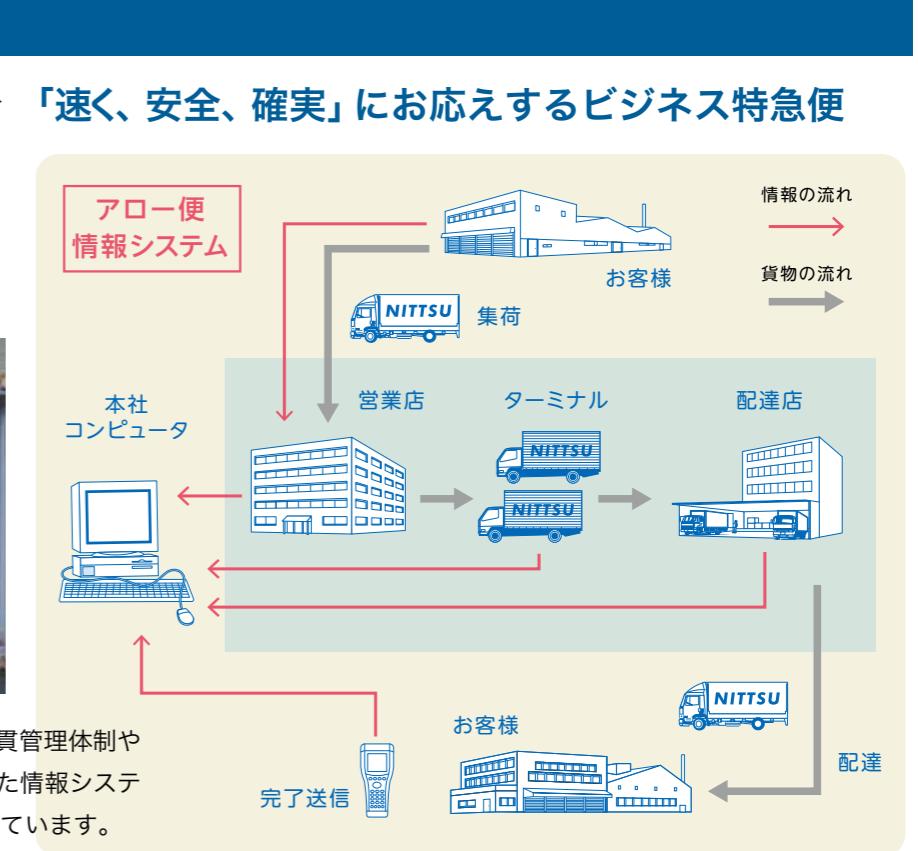


アロ一便（小口貨物）

アロー便は、全国規模のビジネスネットワーク、高度な情報システムなど、日本通運の総合力を発揮して、もっとも効果的な物流をご提案するビジネスの即戦力です。

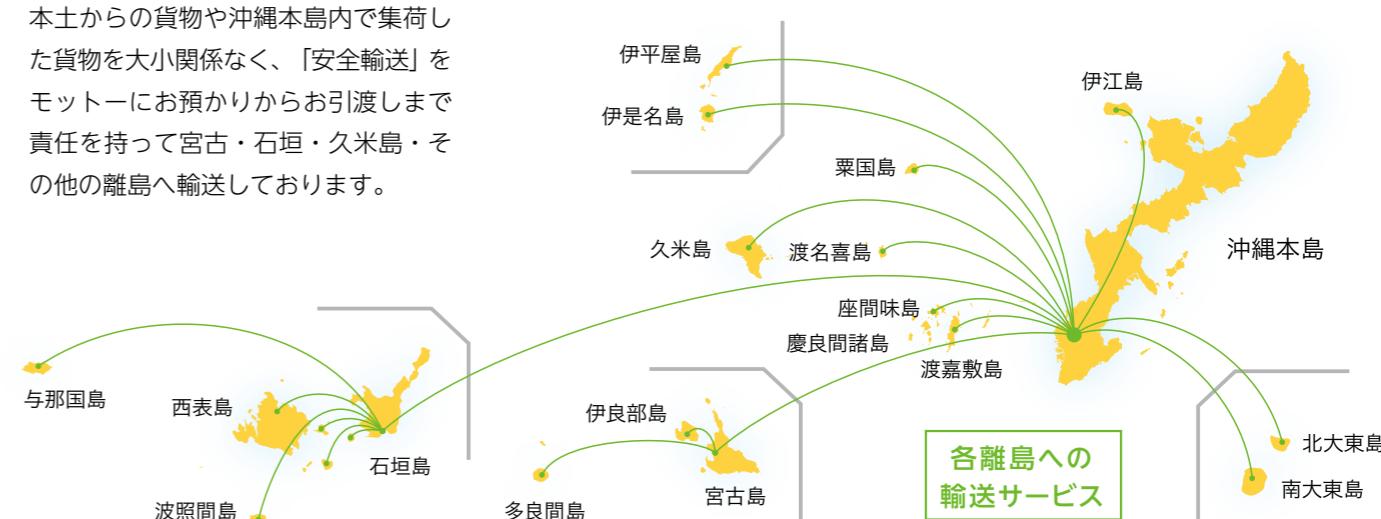


受付から集荷・仕分け・配達までの一貫管理体制や
貨物のコンピュータ追跡管理を実現した情報システム
を駆使、迅速かつ正確な対応を備えています。



県内離島貨物輸送

本土からの貨物や沖縄本島内で集荷した貨物を大小関係なく、「安全輸送」をモットーにお預かりからお引渡しまで責任を持って宮古・石垣・久米島・その他の離島へ輸送しております。



熟練したプロフェッショナル の安全・確実な作業

大型構造物や建設工事に伴う長尺物や重量物、精密機器の搬入・据付、デリケートな取扱が求められる美術品などの特殊輸送には、高度な技術と豊富な経験を有する専門の技術者が対応いたします。

重量品輸送据付・精密機器輸送

重量品、長尺物の輸送から精密機器の輸送まで、その対象は多岐にわたります。運ぶ手段や経路も種々です。多種多様なニーズに応えるため、輸送ルートなど綿密な調査に基づく計画をたて、安全・確実なサービスをしております。



搬入据付作業

ひときわ正確さや、安全が要求される重量品や精密機器の搬入、据付作業には、豊富な経験と高度な技術を持つ専門技術員があたり、安全で確実な作業を行っております。安全を重視した作業計画及び搬入要領に基づく適切な機材使用でコロ曳作業、据付レベル出し等の細やかで高度な技術が活かされております。



美術品輸送

デリケートな取扱いが要求される世界の大切な美術品、博物館所蔵品等の梱包、集荷、配達、展示の一連の作業は、特別な注意が必要です。日本通運㈱で研修を受けた経験豊かな美術品輸送のプロが、美術専用車で慎重、確実に運び、大切にガードしながら丁重な取扱いをいたしております。



産業廃棄物収集運搬作業

廃棄蛍光灯や廃棄パソコン、コピー機など、企業活動によって生じる種々の廃棄物やリサイクル資源を、安全確実に処理施設まで輸送いたします。

- 一般産業廃棄物収集運搬業
(許可番号第04714078896号)
- 特別管理産業廃棄物収集運搬業
(許可番号第04764078896号)

廃棄物処理支援サービス内容

産業廃棄物の収集・運搬・処分サービス	OA機器お引取りサービス	設備機器の輸送据付サービス
全国規模の収集運搬業者、処分業者のネットワークで、お客様の産業廃棄物の適正な処理のお手伝いを行います。	お客様の会社から排出されるパソコンを1台からでもお引取りします。	各種環境関連プラントをはじめとする超重量物の解体・輸送・据付作業を一貫して行います。

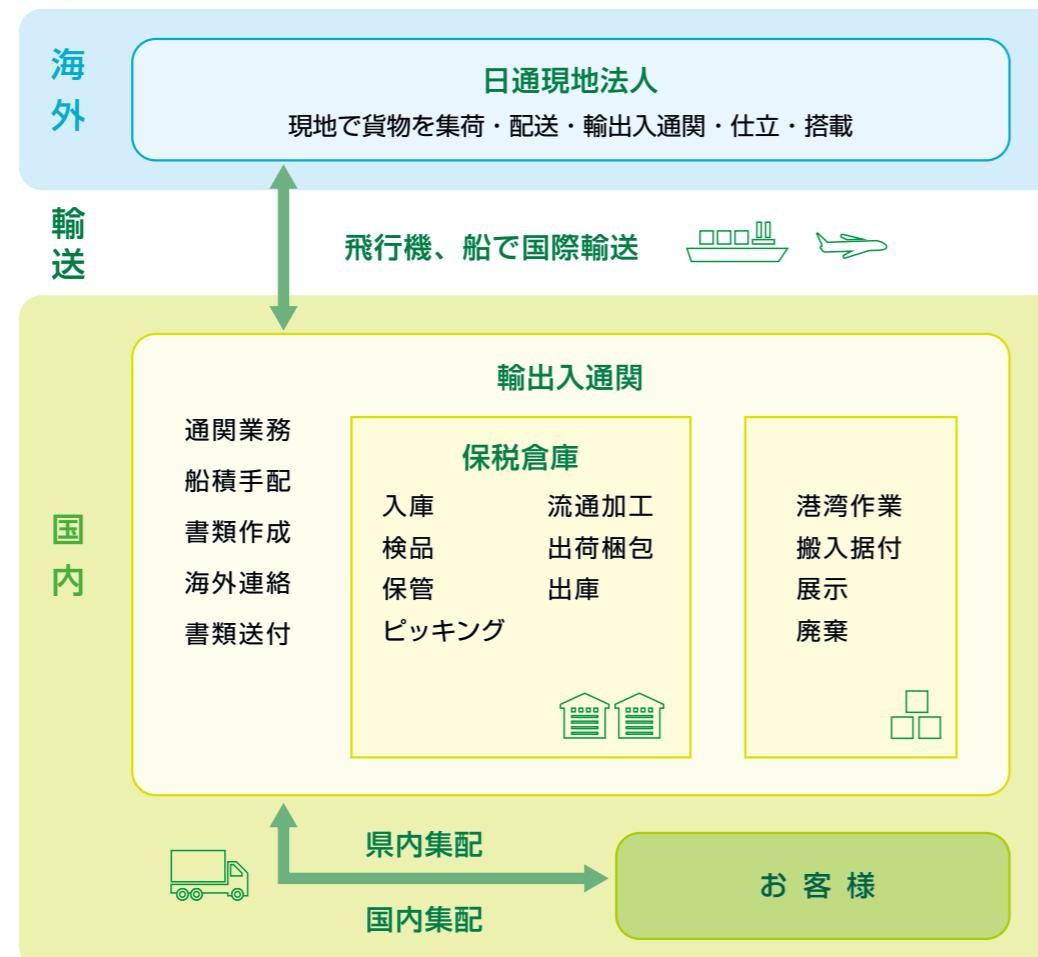
沖縄と世界をつなぐグローバルなサポート体制

現地での集荷・梱包・通関・配送までの輸出入通関業務サービスにより、
グローバル展開を推進するお客様のロジスティックス戦略をしっかりサポート。
お客様のニーズに最適な輸送ルートをご提案しています。

国際輸送

世界各地をつなぐ集荷、梱包、輸出入通関業務サービスをいたしております。
航空機・船舶・トラック・鉄道——。世界に広がるNXグループ海外ネットワークのすべてを結集して取り組むグローバルサービスの国際複合一貫輸送です。少量貨物を対象とした

定期混載輸送サービスから大量貨物の輸送まで、お客様のニーズに最適な輸送ルートを提供いたします。
海外へ赴任される方や、海外から帰国なされる方には、集荷、梱包、輸出入通関等の海外引越一貫輸送サービスをいたします。



グローバル物流サポート 輸入・県内一貫物流サービス

グローバル展開を進めるお客様各位のロジスティックス戦略をしっかりサポート。また、沖縄市場へ参入を図るグローバル企業各社からも、もっとも信頼できるパートナーとしてご利用いただいております。

船舶代理店

140カ国以上のネットワークを持つAPL社をはじめ世界の船舶会社の代理店として、北米、カナダ、東南アジア、ヨーロッパ、オーストラリアからの輸出入業務、サービスをしております。



通関業務

輸出輸入貨物の複雑な通関業務（税関申告、納税手続き、各種検査等）を通關のスペシャリストがお客様に代わって迅速かつスムーズに処理します。

■ 許可番号：沖関第196号

当社輸出入サービスの特長

通関業務	保管業務	物流業務	トータルサポート
通間に精通した通關士がお客様に代り輸入貨物の税関申告・納税手続・各種検査等を迅速に処理	保税倉庫を保有していますので、倉庫保管（常温・定温）から流通加工も対応可能	日通とのネットワークを活かし、沖縄から県外へ、県内から離島へ、のニーズにきめ細かく対応した配送が可能	通關・保管・物流の効率的な管理により、コストダウンも可能

新しい出発を まごころこめてお手伝い

ご家族での引越しに、単身の引越しに、条件の違う様々な引越しのご要望にきめ細やかにお応えし、丁寧な梱包作業とNXグループネットワークによる着地手配で、県内外、海外問わず安心の引越しをお約束いたします。

引越し相談・見積は無料

お客様のご要望に合わせ最適な輸送方法を、日程、料金等でお応えします。

各種サービス

食器から家具までの梱包作業／ピアノ・重量物移動／乗用車の輸送／単身者引越し／ルームクーラー脱着



ご家族の引越し

箱詰めから箱出しまでのお任せタイプや、家具・家電などの大きな荷物の梱包から依頼するスタンダードなタイプなど、お客様のご要望にそった引越しをご提案し、引越しのスペシャリストにより効率よく作業を行います。



梱包作業（日通プロコンボ仕様）

単身パック

学生、単身赴任などの少ない荷物の引越しにおすすめの単身パック。専用のボックスに手軽にまとめる引越です。運賃・梱包・保険などがセットされ全国どこでも（一部の離島は除く）低料金のお得で安心です。



単身パック

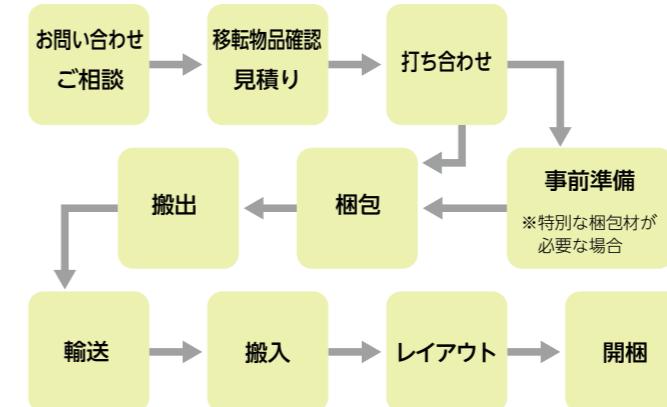
事務所移転

これまで築いた 実績に寄せられる厚い信頼

施設の状況、荷物量、道路状況など、すべての条件を考え合わせた綿密なプランのもと、長年積み上げてきた経験を生かし、安全、確実に、そしてスムーズな移転を進めてまいります。

これまで、沖縄県内において県庁、大学、病院、図書館等の大規模な引越しを手がけた実績は、厚い信頼と高い評価を得ております。

事務所移転の流れ



主な業務実績

沖縄県立芸術大学
沖縄タイムス社
那覇市役所
沖縄メディカル病院
沖縄県立宮古病院
コザ信用金庫（仮本店→新本店）
中部協同病院
沖縄電力 名護支店
農林中央金庫 那覇支店 他



事務所移転に伴う養生



事務所移転作業

沖縄を発着する冷凍貨物サービスの新たな拠点

低温センターは、様々なネットワークを生かして
東京・大阪・福岡・海外と沖縄県内を結ぶ
架け橋として稼動します。

低温センター概要

低温センターは、-25°C・±0°C・+15°Cの3温度帯で管理できる冷凍冷蔵設備を保有し、通過型と在庫型の機能を生かし、琉球物流グループと日本通運株式会社のグローバルネットワー

所在地	〒900-0001 那覇市港町2-18-3
T E L	098-943-5551
F A X	098-943-5553
敷地面積	3,624.18m ²
延床面積	2,971.135m ²
施設	冷凍室 -25°C、2室 (A: 244坪/805.01m ³) (B: 125坪/411.11125m ³) 定温室 +15°C、1室 (13坪/42.228m ²) 低温室(物流加工エリア) ±0°C、1室 (46坪/149.2743m ²) 荷捌き室 +10°C、1室 (282坪/930.04802m ²)
設備	電動式移動パレットラック (792パレット対応) プッシュバックラック (132パレット対応)
特記事項	ドックシェルター6基/エアシェルター5基 電動式デッキボード4基/L ED照明設置(倉庫内および事務所棟)



冷凍室

電動式移動パレットラックを活用することで、倉庫内収容能力を増強。また安全機能も完備しており、安全・安心な荷役作業を実現しています。
また、限られた場所にパレットを大量保管することでスペースを有効活用。傾斜を利用することで電力を必要としないエコ設計となっています。



定温室

常温室は、温度管理 (+15°C) の下、大切なお客様の荷物をお預かりします。



低温室(物流加工エリア)

低温室(物流加工エリア)は、±0°Cで一定管理されており、個別仕分を必要とするお客様のニーズに対応します。



荷捌き室

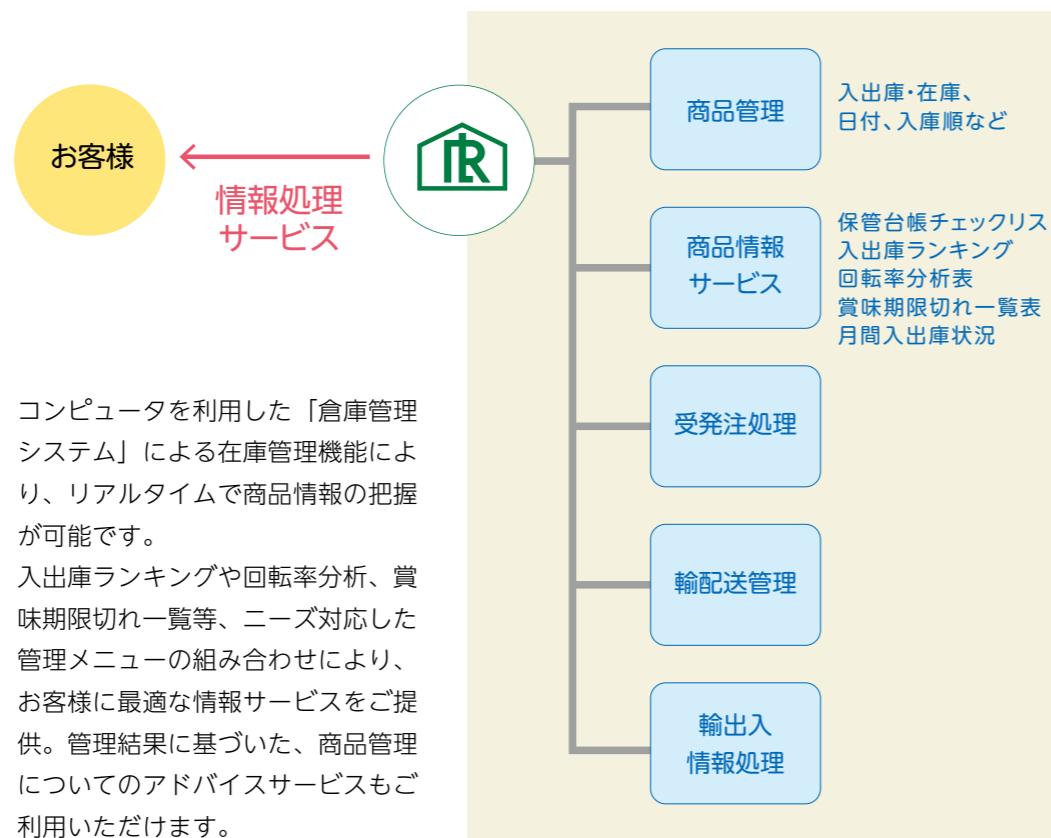


+10°Cに保たれた282坪という広さのエリアを活用し、県内外から届くお客様の荷物を保管・流通させるための入出庫作業効率化を実現しています。

保管から流通管理まで、あらゆるサービス機能を提供して効率化を実現

物流における保管機能に加え、配送、流通加工、情報サービスなどの種々な機能を併せ持つ重要な物流基地としての機能を担っており、お客様の多様化するニーズにお応えしております。

ニーズに合わせた情報サービスを提供します。



主要設備一覧〈営業倉庫・保税蔵置場・賃貸倉庫等〉

名称	所在地	電話／FAX番号	面積 (m ² ／坪数)
市内中心地に近く仕分配送機能を備えた倉庫			
賃貸倉庫・営業倉庫、沖縄地区税関長許可保税蔵置場（西町7号倉庫）			
西町7号倉庫	那霸市西3-8-6 TEL: 098-863-1519	FAX: 098-863-1570	1,514m ² 458坪
賃貸倉庫			
西町1号倉庫	那霸市西2-22-1		3,349m ² 1,015坪
西町8号倉庫	那霸市西2-16-5		1,817m ² 551坪
西町10号倉庫	那霸市辻1-10-2		1,114m ² 338坪
港湾隣接の立地条件を活かした物流拠点型倉庫			
沖縄地区税関長許可保税蔵置場			
泊倉庫	那霸市前島3-25-4		826m ² 250坪
新港1号倉庫	那霸市港町2-17-15		4,009m ² 1,215坪
新港3号倉庫	那霸市港町2-17-13		703m ² 213坪
定温倉庫を備えた物流拠点型倉庫			
沖縄地区税関長許可保税蔵置場、農林水産省動物検疫所指定畜産物輸入検査所			
物流倉庫	浦添市伊奈武瀬1-5-5 TEL: 098-861-4710	FAX: 098-861-4983	2,836m ² 859坪
飲料DC機能倉庫			
仕分け配達倉庫			
配送センターI	浦添市伊奈武瀬1-9-8		1,106m ² 335坪
配送センターII	浦添市伊奈武瀬1-9-8		934m ² 283坪
配送機能を活かした物流拠点型倉庫			
沖縄地区税関長許可保税蔵置場、本土配達貨物、先島配達貨物			
物流センター	那霸市港町4-5-14 TEL: 098-861-4704	FAX: 098-863-3667	3,623m ² 1,098坪
伊奈武瀬倉庫	浦添市伊奈武瀬1-7-20 TEL: 098-943-3334	FAX: 098-943-3404	7,707m ² 2,331坪
付加価値型産業の集積を図る総合物流施設			
沖縄地区税関長許可保税蔵置場			
那霸港総合物流センター	那霸市港町1-26-1 5F TEL: 098-943-2831	FAX: 098-943-2832	4,072m ² 1,234坪



写真提供:那霸港管理組合

会社沿革

当社は昭和25年の創業以来、米軍の施政権下の困難な状況から今日までの長きにわたり、沖縄の倉庫業界の先駆的役割を果たしてきました。

これからも多様化する様々な物流のニーズに応え、地域に密着した総合物流サービスを提供するとともに、日本通運株との提携による日本全国一貫輸送や国際複合一貫輸送等、物流を通して県民生活の安定に寄与してまいります。

品質重視に重点を置き、これまでの長年にわたり蓄積したノウハウと幅広いネットワークにより、物流を通して県経済の発展と県民生活の向上に貢献いたします。



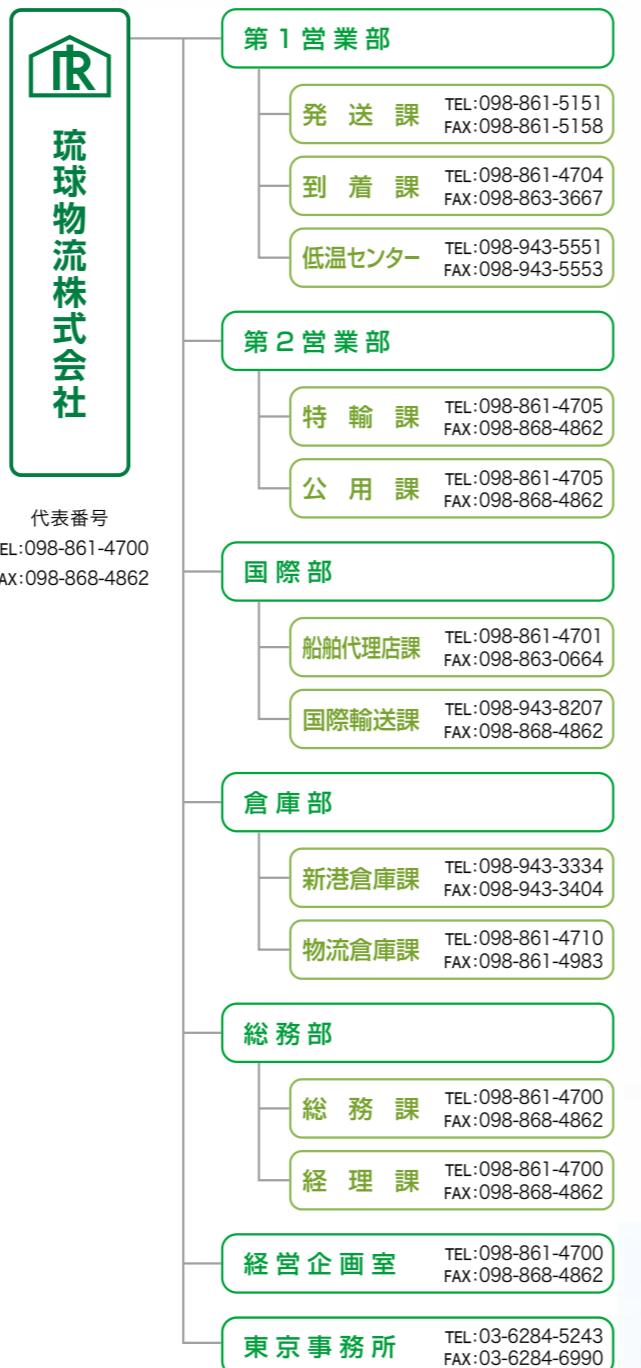
琉球交易港図 三幅対(19世紀)／浦添市美術館蔵

1950年代	1970年代	1980年代	2000年代	2010年代	2020年以降
1950(昭和25)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆米軍管理貿易廃止に伴い軍民両政府の要めにより沖縄中央倉庫株式会社を創設 	1970(昭和45)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆海陸一貫輸送体制整備のため那覇通運株式会社を設立 	1980(昭和55)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆安波ダム工事資材輸送 	2000(平成12)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆物流拠点の集約化を図るため那覇新港社有地に物流センター(1,098坪)、配送センター(283坪)建設、新港2号倉庫(109坪)増築 ◆沖縄サミット開催に伴い資材・車両等輸送 ◆県埋蔵文化財センター新築に伴う考古土器移転作業 ◆川澄化学工業株式会社と病院用薬品の運送保管契約締結 	2008(平成20)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆発送課・到着課新設 ◆沖縄総合事務局移転作業 ◆沖縄防衛局移転作業 ◆那覇市役所仮庁舎移転作業 ◆洞爺湖サミットに係る沖縄県警の車両輸送 	2020(令和2)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆モノレール軌道輸送 ◆多良間製糖工場プラント輸送 ◆ウエストパック号からUSNSグアム号へ船舶変更 ◆港湾荷役会社である琉球港運株式会社を傘下に収める
1951(昭和26)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆ガリオア物資保管契約を調印 ◆那覇市安謝に土地3,000坪取得、倉庫(800坪)建設 	1972(昭和47)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆日通本社海運部内に東京事務所を設置 ◆那覇新港社有地に本社ビルを建設 	1982(昭和57)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆那覇新港社有地に土地3,000坪取得、倉庫(1,200坪)建設 		2009(平成21)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆沖縄協同病院移転作業 ◆沖縄県税事務所移転作業 ◆中部合同庁舎移転作業 ◆沈埋トンネル関連作業 	2017(平成29)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆大学院大学関連機器搬入作業 ◆県立博物館・美術館「古代エジプト神秘のミイラ展」展示作業 ◆沖縄赤十字病院移転作業
1952(昭和27)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆社名を琉球中央倉庫株式会社に変更 ◆米軍港湾荷役作業を国際入札により落札請負 	1974(昭和49)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆梱包・開梱及び搬出入業務の強化を図るため中央倉庫梱包株式会社を設立 ◆那覇通運株式会社を中央倉庫運輸株式会社に社名変更 	1984(昭和59)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆辺野喜ダム工事資材輸送 		2012(平成24)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆海洋博記念公園海洋文化館改築に伴う大型カヌー他移動作業 ◆沖縄タイムス社新社屋移転作業 ◆那覇市役所新庁舎移転作業 	2018(平成30)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆MRO Japan航空整備基地輸送 ◆技能五輪全国大会・全国障害者技能競技大会(アビリンピック)会場設備・資材輸送
1954(昭和29)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆琉球政府諸制度整備に伴い正式に発券倉庫の許可 	1977(昭和52)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆石川石炭火力発電所プラント輸送2万トン 	1986(昭和61)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆A・P・Lとの船舶代理店業務締結 	2001(平成13)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆通関業許可取得。産業廃棄物収集運搬業許可取得 ◆県立中部病院移転作業 	2013(平成25)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆壳電事業開始(本社・物流倉庫・物流センター) ◆県立宮古病院移転作業 ◆沖縄メティカル病院移転作業 	2021(令和3)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆那覇市市制100周年及びなはーと開館記念作品運搬・展示 ◆(株)サンエー宮古シティ機器搬入作業 ◆琉球ホテル&リゾート名城ビル機器搬入作業 ◆藤原ダム(群馬県)機器搬入作業 ◆大学院大学関連水槽輸送作業 ◆米軍関連大型発電機輸送作業
1956(昭和31)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆泊の築港完成に伴い同港岸壁に倉庫(250坪)建設 	1979(昭和54)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆琉球大学工学部移転作業開始(80年理学部、81年教養学部・法文学部・附属図書館・女子寮・本部、82年教育学部、83年医学部、84年医学部附属病院) 	1990年代	2002(平成14)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆フィリップモリス株式会社と煙草運送保管基本契約締結 	2014(平成26)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆浦添市伊奈武瀬に土地2,758坪購入 	2022(令和4)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆若狭小学校移転作業 ◆復帰50年沖縄復帰前展 ◆復帰50年展「琉球—美とその背景—」
1960年代	1990(平成2)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆県庁舎新築に伴う移転作業 ◆浦添市美術館「岡コレクション展」美術品輸送展示作業 	1991(平成3)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆那覇市制70周年記念「アジア現代美術展」輸送展示作業 	2005(平成17)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆社名を琉球物流株式会社に変更 	2015(平成27)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆中央倉庫運輸株式会社、中央倉庫梱包株式会社を琉球物流運輸株式会社、琉球物流梱包株式会社に社名変更 ◆伊奈武瀬倉庫(2,335坪)建設 ◆コザ信用金庫本店の移転作業 ◆日通・琉球物流が冷凍混載輸送サービス開始 	
1960(昭和35)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆日本通運株式会社と代理店契約を締結 	1993(平成5)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆県立博物館「尚家継承琉球王朝文化遺産展」輸送展示作業 	1997(平成9)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆日本通運の下で防衛施設庁関連物資の輸送開始 	2007(平成19)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆新西町7号倉庫(458坪)建設 ◆南部徳洲会病院移転作業 ◆県立博物館移転作業 	2016(平成28)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆新港2号倉庫を改築し低温センター(900坪)建設 	
1964(昭和39)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆南大東測候所向け観測用機材輸送(1年間) 	1995(平成7)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆県公文書館移転作業。開館記念展中国より借り出し展示 	1998(平成10)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆国際輸送課新設 ◆ISO9001認証取得 ◆沖縄都市モノレールPC軌道桁輸送開始 			
1967(昭和42)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆那覇市西町社有地に倉庫(400坪)建設 					
1969(昭和44)年 <ul style="list-style-type: none"> ◆琉球電力公社発電所プラント資材2万4千トン輸送 					

会社概要

所在地	本社 那覇市港町2-17-13 TEL:098-861-4700
	東京事務所 東京都千代田区神田和泉町2 NXグループビル5F 日本通運（株）関東甲信越ブロック内 TEL:03-6284-5243
設立	1950(昭和25)年11月16日
資本金	7,320万円
関連施設	西町倉庫（7号倉庫） 那覇市西3-8-6 TEL:098-863-1519 新港倉庫 那覇市港町2-17-15 TEL:098-861-5720 物流倉庫 浦添市伊奈武瀬1-5-5 TEL:098-861-4710 伊奈武瀬倉庫 浦添市伊奈武瀬1-7-20 TEL:098-943-3334 配送センター（リウボウ・FMセンター） 浦添市伊奈武瀬1-9-8 TEL:098-943-7951 物流センター 那覇市港町4-5-14 TEL:098-861-4704 低温センター 那覇市港町2-18-3 TEL:098-943-5551 那覇港総合物流センター 那覇市港町1-26-1 5F TEL:098-943-2831
事業内容	倉庫業 第1種貨物利用運送事業 第2種貨物利用運送事業 損害保険代理業 不動産賃貸に関する事業 物品販売業 船舶代理店業 一般貨物自動車運送事業 警備業 とび・土木工工事業 通関業 産業廃棄物収集運搬業 生命保険の募集に関する業務 太陽光発電・売買事業 前各事業に付帯する業務
企業提携	日本通運株式会社

組織図



関連企業

琉球物流運輸株式会社

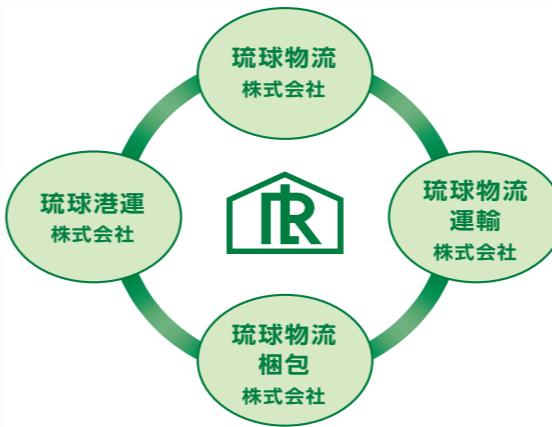
《トラック輸送業務》
那覇市港町4-5-14 TEL:098-861-2373

琉球物流梱包株式会社

《作業業務一般》
那覇市港町2-17-15 TEL:098-868-1562

琉球港運株式会社

《港湾荷役作業》
浦添市西洲2-15 TEL:098-871-3011



車両台数

車両区分	琉球物流株	琉球物流梱包株	琉球物流運輸株	琉球港運株	合計(台)
フォークリフト	50	1	1	19	71
トラック	3	3	22	4	32
ヘッド			7	4	11
トレーラー			16		16
美術専用車			1		1
クリッパー			2	2	2
クレーン			1	1	1
クローラークレーン			2	2	2
リーチスタッカー			1	1	1
タンク車			1		1
軽ワゴン			2		2
バン	3	4	3	6	16
合計	56	10	51	39	156

2022(令和4)年12月現在



ISO9001:2015年版の認証登録



当社では1998年8月31日、沖縄県下で5番目、
物流業界では初の「ISO9001」の認証を取得。

認証番号：JP28528-Q-1

発行日：2018年11月23日

当社の品質方針

I いつでも、
どこでも、

S 信頼できる
サービスを、

O お客様に
保証する。

更なる品質向上

目指して

